

有田市立病院だより

Vol. 4



◆有田市立病院の理念◆

良質な医療を行い、地域医療に貢献し、利用者から信頼される病院を目指す。

◆基本方針◆

—理念を現実化させるための私達の姿勢—

- 1 患者様の視点に立った医療を行います。
- 2 安全で確実な医療を重視しています。
- 3 医療サービスを重視し、患者様に十分な情報を提供します。
- 4 他施設との連携を密にし、効率的な医療を行います。
- 5 住民の皆様から喜んでいただくことに働きがいを感じます。

有田市立病院

〒649-0316 有田市宮崎町6番地

TEL.0737-82-2151 (代)

FAX.0737-82-5154

発行：有田市立病院 情報管理・広報委員会

当広報誌へのご意見・ご感想お待ちしております。

診療科紹介 (産婦人科)

当科では、分娩に伴う妊産婦の健康管理と婦人科疾患の診察・手術を行っています。現在は、常勤医師が2名であり(写真)、また、医大からの応援医師の派遣により、24時間の分娩に対応できる体制をとっています。



左から 藤永医長、今井医長

【妊娠・出産について】

少子化という社会の流れから分娩を取り扱わない施設が増加しています。しかしそのような中、若年妊娠や高齢出産などのリスクを抱える妊産婦は増加しています。また、核家族化や相談相手がないなど様々な社会現象から産科医療における役割は大きくなっています。当科では、妊産婦・褥婦や子育て中の家族に対して、医師・助産師・看護師が連携し、相談窓口となるよう身体的・精神的看護に努めています。また、個々の状態に合わせた保健指導を、助産師主導で行っています。

保健指導内容	指導時間
	指導形態
妊娠初回指導	30分以上 個人指導
着帯指導	15分以上 個人指導
安産教室 I	約2時間 集団指導
安産教室 II	約2時間 集団指導
出産後1週間検診指導	30分 個人指導
出産後1ヶ月検診指導	15分～30分 個人指導
産後相談 (母乳相談を含む)	30分以上 個人指導

保健指導を有料にて行っております。
詳しくは、産婦人科外来までお問い合わせください。

当科の考えとしまして、できるだけ自然の経過に逆らわない妊・産婦管理を心がけています。また、妊婦健診時の超音波検査をできる限り多く行い、妊婦さん自身の目で、“赤ちゃん”を見ていただきたいと考えています。

その他、母乳栄養・育児などどんなことでも遠慮なく相談してください。



【婦人科について】

婦人科の主な疾患として、良性婦人科疾患(子宮筋腫、卵巣嚢腫、子宮内膜症など)や悪性婦人科疾患(子宮頸ガン、子宮体ガン、卵巣ガンなど)があります。当科では、できるだけ安全な方法で手術などの治療を行いたいと考えています。個々の病状についてできるだけ詳しい説明をさせていただき、納得していただける医療を行えるよう心がけています。

また、当院では通常診療と平行して、子宮ガン検診も行っております。検診希望の方は受付時間(8:00~11:30)内でお越しください。

～ 動脈硬化を早期診断!! ～

あなたの血管年齢は何歳？

動脈硬化は、動脈の血管内壁にコレステロール等の脂質が沈着し硬くなると共に、内腔が狭くなる状態です。食生活の欧米化や高齢化に伴い、動脈硬化の患者様が増えています。加齢によっても進行しますが・・・

動脈硬化が起こりやすい危険因子

①高血圧 ②高脂血症 ③喫煙 ④糖尿病 ⑤肥満など

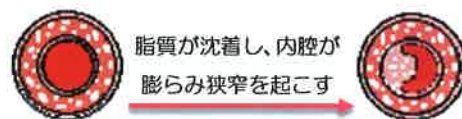
動脈硬化は症状が現れにくく、放っておくと・・・

脳卒中、心筋梗塞、腎不全、大動脈瘤などを発症するおそれがあります。

動脈硬化の度合や早期血管障害を調べる検査に **ABI 検査**、**PWV 検査**があります。

・ABI とは (足首上腕血圧比)

横になって両腕と両足の血圧を測ると、足の方がやや高くなります。しかし動脈に狭窄や閉塞があるとその部分の血圧が低下します。



このような狭窄は下肢に起きることが多いので、上腕と足首の血圧測定で調べることができます。

・PWV とは (脈波伝播速度)

心臓からの拍動が手足まで届く速さです。動脈壁が厚くなったり硬くなると弾力性がなくなるので、速度が速くなります。

当院でのABI、PWV 検査

- ・基本的には即日検査を行います。
- ・採血も即日検査なので合わせて当日に結果をお知らせすることが可能です。(採血は項目によって不可なものもあり)
- ・追検査として『頸動脈エコー』や『下肢血管エコー』も受けることが可能です。



担当：検査室 (内線150)

職員募集のお知らせ

有田市立病院では、平成25年4月採用の職員を募集しています。

職 種：看護師5名程度・助産師2名程度・臨床検査技師1名

受付期間：8月31日(金)まで

試 験 日：9月16日(日)

詳細につきましては、病院ホームページまたは庶務課までお問い合わせください。



糖尿病ひろば～第2回～

ちまたで「フットケア」という言葉がよく聞かれるようになりました。リラクゼーションやマッサージ、爪きり、胼胝（たこ）削り等、一部を取り上げれば同じ方法を用いているものもありますが、私たち内科スタッフが担当するのは医療フットケアです。

患者様の状態を「足の状況」「全身状態」「日常生活状況」「セルフケア（自己管理）状況」の4つの視点から診ていきます。足のケアを通して糖尿病を持つその人自身をケアしていきます。

実際には患者様と話をし、足を一緒に見て、触れていきます。足の状況を見て神経障害の有無を確認し、糖尿病や全身の状況、セルフケアや生活状況を診ていき足浴を行い、必要ならば爪きりや胼胝（たこ）削りを行っていきます。また普段から自宅で行えるようにセルフケア（自己管理）の方法を一緒に考えていきます。

フットケア外来希望の方は、診察時に主治医に相談し予約を入れてもらってください。また糖尿病教室でも内科外来のコーナーは「足のチェックの方法」や「お手入れの方法」について話しています。

担当：内科外来（内線 200）



～使用済み注射針や血糖値測定用穿刺針を回収しています～

在宅医療で使用されたインスリンの針や血糖値測定用穿刺針が、一般ゴミとして廃棄され、収集時に『針刺し事故』を起こしたと報告されることがあります。

有田市立病院では、インスリンの針や血糖測定用穿刺針を皆様にご協力いただき回収しています。しかし、ナイロン袋でご持参いただく場合は、袋が破れたり、針のキャップが外れる可能性もあり危険です。

今回、安全面についての検討をおこない、『使用後の針入れ専用容器』をお渡しすることになりました。お渡しした専用容器に針のみ入れ、今まで同様、内科外来にお持ちください。

— ご注意いただくこと —

- ◎お渡しした容器には、針のみお入れください。
- ◎容器のふたはきっちりお閉めください。
- ◎容器の8分目くらいまで針が溜まりましたら受診時にご持参ください。
- ◎容器には約100本の針が入りますが、次回受診時までいっぱいとなった場合にはペットボトル（固めの物）等の代用をお願いします。
- ◎インスリンのカートリッジ、ペン型インスリン等は別容器（ナイロン袋可）に入れ、お持ちいただき医療廃棄処理をしてください。



安全・安心で適正な廃棄処理にご協力ください。